

肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター主催

肝疾患相談センター相談員研修の変遷

H23～H28 相談員向け研修会 作業委員

東海大学医学部附属病院 医療ソーシャルワーカー 伊勢啓一

2017/03/03-03/04

平成22年度 講義

肝疾患相談センターの立ち上げ、運営、そして課題

信州大学医学部附属病院 肝疾患相談センターMSW 浅川 梨恵

肝疾患相談員の役割・機能（看護師の立場から）

名古屋市立大学病院 管理部 医事課 肝疾患相談室 相談員 近藤優子

相談支援のプロセス がん専門相談員として求められること

国立がん研究センター がん対策情報センター室長 高山智子

肝疾患患者のメンタルケア・インフォームドコンセント

岩手医科大学附属病院 消化器肝臓内科 病棟師長 三浦幸枝

相談業務のプロセスとコミュニケーション技術

国立国際医療研究センター 国府台病院 心理士 若林邦江

平成23年度 講義

国の肝炎総合対策、医療費助成について

厚生労働省 健康局 疾病対策課 肝炎対策推進室

B型肝炎訴訟について

厚生労働省 健康局 結核感染症課

B型肝炎に関する最新の話題

虎ノ門病院分院 肝疾患相談センター長、肝臓内科医長 鈴木義之

C型肝炎に関する最新の話題

広島大学病院 消化器・代謝内科 講師 高橋祥一

平成23年度 グループワーク

(事例) 40～50歳 女性 C型肝炎→肝細胞癌

治療 経済問題 就労 連携、均てん化 偏見

病気の理解が乏しく、治療内容がイマイチわからない。
現在、生活保護を受給しているが、いずれは復職したいと考えている。今後、隣接県に転居予定であり、転居先でも同じ治療がしたい。病気のことは家族には伝えられていない。

ペグインターフェロン、リバビリン
および テラプレビル 3剤併用療法

平成24年1月13日に、「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」施行

研修目標

- 肝疾患を抱えて暮らす人を理解する
- 相談者のニーズに応じた適切な情報や支援の方法を学ぶ
- 相談員の役割を理解する

平成24年度 講義

B型肝炎訴訟について

厚生労働省

肝疾患相談室記録システムの有効性について

名古屋市立大学病院 肝疾患センター 阿部信子

B型・C型肝炎に関する最新の話

武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎雅之

肝疾患患者の悩みを考える

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター長 八橋弘

平成24年度 グループワーク

(事例) 40～50歳 男性 C型肝炎

治療 服薬指導 副作用 心理 生活の制限 経済問題 就労

C型肝炎が治るかもしれない。治療を頑張りたい、この治療にかけている。

3剤併用療法導入。8時間ごとの服薬や間食にととても気を使う。薬の影響で倦怠感、イライラがある。加えて、禁酒のストレスや医療費の不安、仕事との両立（1/Wの受診）について悩んでいる。

平成25年度 講義

肝疾患に関する障害年金の認定基準について

厚生労働省 年金局 事業管理課 給付事業室

B型肝炎の最新情報

虎の門病院 肝臓内科医長 鈴木義之

C型慢性肝炎治療の現状と展望

山梨大学 医学部附属病院 特任准教授 坂本穰

ウイルス性肝炎患者に対する偏見・差別を生むもの

東京大学医学部大学院 医学系研究科 生体防御感染症学 准教授 四柳宏

平成25年度 グループワーク

(事例) 50歳 女性 B型肝炎

社会問題 母子感染 予防 (ワクチン) 受診 偏見

娘が結婚間近。娘も母子感染でB型肝炎になってしまった。とても申し訳ない。婚約者がB型肝炎のことを知ったら結婚を破棄されてしまうのではないか。

もし孫が産まれたら感染してしまうのではないか不安。娘は専門医に定期受診をしていない。

以前、歯医者で治療拒否された経験がある。訴訟について詳しく知りたい。

平成26年度 講義

B型肝炎の最新情報

東京大学大学院 医学系研究科 生体防御感染症学 准教授 四柳宏

C型肝炎の最新情報

大阪大学大学院 医学系研究科 消化器内科学 講師 平松直樹

B型肝炎訴訟について

厚生労働省 健康局 結核感染症課 B型肝炎訴訟対策室

肝疾患患者さんの知りたいこと

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会 事務局長 米澤敦子

患者さんの悩みにうまく寄り添うには

国府台病院 心療内科 心理療法士 若林邦江

平成26年度 グループワーク

(事例) 80歳 女性 C型肝炎

院内周知 広報 最新治療 副作用 服薬指導 (薬の飲み忘れ)
暮らし (生活の制限) 連携、均てん化 偏見

警備の人が肝疾患相談センターを案内してくれた。倍賞千恵子のテレビCMで新しい治療(2剤併用)を知った。過去にインターフェロン治療をした経験がある。独居で体の衰えがある。近くの市民病院に通いたい。老人会の集まりで湯のみを一緒に使ったら菌をうつしてしまうのではないかと不安。

各病院で使っている広報物を展示

アスナプレビル/ダクラタスビル
(わが国初のインターフェロン・フリー治療)

平成27年度 講義

我が国の肝炎対策について

厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室

C型肝炎経口薬剤耐性の考え方

肝炎・免疫研究センター長 溝上雅史

地域ブロック単位で考えることの意義

肝炎情報センター長 正木尚彦

平成27年度 グループワーク

地域のブロックで討議

事前資料として、

- ・ 自施設の肝疾患相談センターの立ち位置
- ・ 自治体の肝炎担当部署との連携
- ・ これまでの活動と今後の課題